

# 愛鳥セキレイを追いかけよう

5月～2月(31時間)

## 1 ねらい

- ① 学区の様々な場所で生物を日常的に観察しようとするができる
- ② 学区で見たセキレイの場所を地図に適切に記し、生物の関連性を考えることができる。
- ③ 月ごとにまとめたマップから季節によるセキレイの違いに気づき、その理由を考えられるようにする。

## 2 実践の概要

### (1) 単元計画 《児童の活動》

#### セキレイのとくちょうを調べよう①～⑤

- ・学区で見られるセキレイ科を知る。  
「ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイがいるよ。」
- ・セキレイごとの特徴を図鑑で調べる。  
「ハクセキレイは町で見られ、セグロセキレイは田畑にいるよ。キセキレイは山にいるよ。」

### 《教師の支援》

- ・それぞれのセキレイの特徴をまとめられるワークシートを用意する。
- ・各セキレイの特徴を捉えられるように、大きな絵を描くための模造紙を用意する。

#### 野鳥を知ろう集会 行事①

- 1年間の総合的な学習の時間で調べていくことを全校に伝える。
- ・セキレイの学区分布調査を行っていくことを発表する。
- ・祭りについて調べることを発表する。

#### セキレイマップをつくろう⑥⑦

- ・どんなマップを作るとよいかを考える。  
「見やすいようにシールで色分けしよう。」  
「季節で見られるセキレイが違うかもしれないから月ごとに作ろう。」

- ・元となる学区全体地図を大きな紙に印刷する。
- ・月ごとの変化が見やすいように、シールを張る透明シートを用意する。

### 岡崎のESD

他者と協力する態度

#### 学校のまわり 社会④

- 学校の周りの様子を歩いて調べ、地図上に表す。
- ・地図の読み方を知る。
- ・学区にある特徴的なものを地図に表す。

#### セキレイマップに表そう⑧～⑱

- ・各セキレイを見た場所に、日付を書いたシールを張る。
- ・月ごとのセキレイの分布調査マップを蓄積していく。

- ・複数人で1羽を見たときは、代表者1人がシールを張るよう伝える。
- ・見た場所を地図上に正しく表せているかの確認をする。

### 岡崎のESD

進んで参加する態度

#### セキレイマップから気づくことを考えよう(春夏秋冬)⑲～⑳

- ・毎月のシールの数や分布を見て、変化や偏りに気付く。  
「家のあるところでハクセキレイがよく見られるよ。」

- ・それぞれのセキレイが観察できる場所に偏りがある理由を、生態をもとに考えるよう伝える。
- ・グラフを見やすくするために、グラフに色をつけたり紙を大きくしたりすることを助言する。

#### セキレイマップでわかったことをまとめよう ㉑～㉓

- ・見やすいようにグラフにして変化を読み取りやすくする。  
「算数で習った棒グラフにしたらわかりやすいよ。」

#### 愛鳥新聞を作ろう ㉔～㉗

- ・記事を精選、分担する。
- ・新聞の原稿を作る。

### 岡崎のESD

多面的・総合的に考える力

#### ふるさとタイム

#### まとめ発表会 行事①

- 総合的な学習の時間で調べたことを全校に伝える。
- ・セキレイマップから分かったことを伝える。祭りで分かったことを伝える。

#### セキレイマップからわかったことを伝えよう ㉘～㉙

- ・伝えることを精選する。
- ・発表用の原稿を作る。
- ・発表用の資料を作る。
- ・発表練習をする。

- ・聞く人を意識させ、言葉や話す速さを確認する。
- ・全員が責任を持って取り組めるようなグルーピングを行う。

## (2) 単元の流れ

### ① 野鳥を知ろう集会

4月に愛鳥をセキレイと決めてから、「ハクセキレイ」「セグロセキレイ」「キセキレイ」の3種の特徴を調べた。その中で、餌や生息場所などの特徴を知った。それを絵と文でまとめて、全校児童と保護者のみなさんに発表した。また、これから一年かけて調べていきたいことを発表する場でもあるので、セキレイの学区分布調査、生平の祭について調べていきたいことを発表した。



セキレイについて調べたことを発表

### ② セキレイアンケート作りとアンケートのお願い

セキレイの学区分布調査をするために、全校児童にセキレイを見たら、セキレイの種類、見た日、見た場所などを記入してもらおうアンケートを用意し、各学年にアンケート記入への協力をお願いに行った。そして、アンケートを入れる箱も作り、児童玄関にアンケートと一緒に置き、見たらすぐ書いてもらえるように設置した。



セキレイアンケート記入のお願い

### ③ セキレイアンケートの集計とセキレイマップ作り

セキレイアンケートを月ごとに集計して、「ハクセキレイ」「セグロセキレイ」「キセキレイ」を見た場所をセキレイマップと名付けた分布図にシールを張ってデータを取っていった。セキレイマップを作っていく中で、月ごとのシートをめくったり、床に広げて並べないと、セキレイの数の比較ができないことが問題になってきた。そこで、セキレイ別の月ごとに見られた数分かる棒グラフを作ることにした。それによって、セキレイ別の月ごとの数の変化を分かりやすく比較できるようになった。

### ④ 愛鳥新聞作り

12月発行の愛鳥新聞の担当は3年生である。そこで、前年度の新聞を参考にしながら、どんな記事を書けるか、だれが担当するかなどの分担を決めていった。そこで、セキレイアンケートをまとめてセキレイマップを作る取り組みを行っていることや11月までのセキレイマップをまとめてみて思ったことを中心に野鳥の豆知識、ウォッチング情報などの記事を書けることになった。担当になった子は、今までの資料を参考にしながら記事を書き、習いたてのローマ字で記事を入力し、新聞を仕上げることができた。

### ⑤ ふるさとタイムまとめ発表会

2月17日がふるさとタイムまとめ発表会である。今、ふるさとまとめタイムに向けて、総合的な学習の時間で調べたことをまとめているところである。セキレイアンケートやセキレイマップを見て、各月ごとの3種類のセキレイの分布から分かることをまとめている。今のところ、6～9月はセキレイを見られる数が少なかったけれど、10月以降見られる数が増えてきている。セグロセキレイは晩秋にはつがいになり、2羽で冬越しする。そのためか、セキレイアンケートには、2羽一緒にいるところを見ている子が多いことなどが分かってきている。伝えたいことを精選し、聞く人に分かりやすい発表ができるように原稿を書き、資料作りや発表練習を進めていきたいと思う。

## 3 実践を振り返って

### (1) 成果

- ふるさとタイム発表会を意識してまとめを行うことができた。また、発表の場があるため、子どもたちは年度当初からある程度の見通しをもって活動に取り組んでいた。

### (2) 課題

- セキレイマップ作りにおいて、当初、複数人で1羽を見たときのシールの張り方を確認していなかったため、正確なデータがとれているのかという疑問が残る。より正確なデータを取るための手立てが必要であった。
- セキレイアンケートを全校にお願いしていたが、ことあるごとに呼びかけていかないと書くことを忘れてしまうようなので、正確なデータを集めるには、集会やお昼の放送などで常に呼び掛けていく活動が必要だと思った。